

# ハッピー通信



2024年8月6日発行

24-32号

(<http://www.jremnant.com/>)

現場から（最近のニュースから）

## 不安の原因



オリンピックは後半に入りましたが、見ていると、さまざまな国が集まっています。いま戦争中の国もあり、平和の祭典と言われているのに、政治的な問題が取り上げられることもあります。そのような中で、どの国がほんとうに平和で幸せなのでしょうか。6年連続で「世界幸福度ランキング」1位の国はどこかご存じでしょうか。フィンランドです。しかし、ほんとうにフィンランドの人々は、自分たちがいちばん幸せだと思っているのでしょうか。フィンランドに友人（大学生）がいる人が、それについてインタビューした記事がありました。

男性の19歳と20歳の友人に、「フィンランド人は幸せか」と聞いたところ、そうは思わないという返事があったそうです。「フィンランドは幸せな人しか存在していない、不幸せな人はいない」というダークジョークがあるということでした。それは、良い表現に聞こえるかもしれないですが、実はフィンランドの自殺率の高さを物語っているということです。病んでしまう人が多いので、自殺が多い（不幸せな人は死んでしまうので、存在しない）ということです。そして、小さいころから自立するように育てられているので、フィンランド人は自立していて孤独だという傾向があるそうです。また、教育の支援金が減額されたことや、労働者のストライキ権に制限がかかるという問題に直面していたり、政治に対する不平不満もあるということです。そして、自分の国はいまは幸せでも、他の国で起こっている戦争や気候変動を鑑みると、この先どうなってしまうのかという不安が大きいということです。インタビューを終えて、どれだけ幸福度が高いとされる国でも、それぞれに抱えている悩みや不安はあるという結論が書いてありました。（7/30TABILABO＜幸福度1位フィンランドのZ世代が「アンハッピー」に思うこと＞）

人間は、どの国にいても、不安を抱えています。日本も他の国から見たら、安心して暮らせる良い国のはずですが、日本で精神的に病んでいる人は、年々増えていますし、世界的に見ても認知症になる人がとても多い国だと言われています。貧しくない国のように見えますが、実際の生活に苦しんでいる人は多いです。フィンランドの大学生が心配していたように、まわりにはいつ衝突するかと思える国があり、戦争が起こらないとしても、コロナウイルスのような病気が、また、いつ流行るか分かりません。気候の異常さは、年々増しています。どんなに予防して対策しても、どうしようもない問題が湧いて出て来るようです。全世界、すべての人が、ほんとうは不安を抱えて生きてます。どこに逃げても、一瞬は平和に思いますですが、また、不安が出て来ます。なぜでしょうか。実は「人間には不安に思うしかない根本」があるのです。それを知り、それが解決しない限り、ほんとうの安心はありません。あなたの不安の根本原因について、見てみませんか。



## 救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていいくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち碎いて勝利なさいました(ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください